

## 目的

子どもたちの有能さを引き出す

## 学校の教育目標

↑ 見つめなおし

↓ 具現化

目マネ: 目標達成マネジメント  
組マネ: 組織マネジメント

### 観点Ⅲ 組マネ

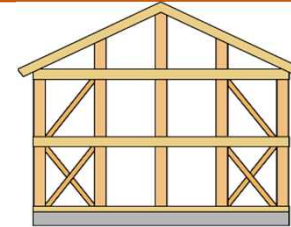
#### 観点の“肝”

主任等が、ミドル・アップダウン・マネジメントを適時・適切に行う

### 観点Ⅰ 目マネ

#### 観点の“肝”

“設計図”が整っている  
※全職員の納得解に基づき完全共有ができています



#### ◆「育成を目指す資質・能力」が明確である

- ✓ 1or2つに焦点化された“妥当な”育成を目指す学習の基盤となる資質・能力
- ✓ 資質・能力の3つの「柱」に“適切に”落とし込めている

#### ◆「誰が」「何を」「どのくらいの頻度で」など、各指標設定等が整っている

※第Ⅱステージで完了済のはずですが...

- ✓ 各種指標(達成指標、取組指標)の**根拠**や理由を職員全員が説明できる

主任等:  
“縦”と“横”の連携のキーパーソン

- ✓ 学校運営の効率化をする

- ✓ 専門スタッフや関係機関等と連携体制を構築する

### 観点Ⅱ 目マネ

#### 観点の“肝”

これらのことを、“最新・最適な状態”にアップロードする

#### ◆“有機的な”PDCAサイクルを回している

- ✓ 検証・改善フローの徹底⇒適切なスパン(短・中・長期)
- ✓ 徹底した**要因分析**に基づく検証の実施  
例:「なぜ」を5回繰り返す)

“カリマネ”の推進へ

### 観点Ⅳ 目マネ

#### 観点の“肝”

家庭・地域が学校と一体となり(協働し)、子ども、地域活性化に“力を結集する”

#### ◆「目指す子ども像」を共有し、同じベクトルで取り組む

- ✓ 学校運営協議会が機能する 《例えば》

熟議で共通理解、及び方策を生み出す

→ 推進部会で実働

検証改善: チームできてる? 役割分担は適切だった? 「14の業務」納得している? 等々

往還

学校運営の中核をなす“組マネ”